

# きよせ

# 市議会だより

令和3年(2021年)  
8月15日 No.230



発行 清瀬市議会  
清瀬市中里5-842  
TEL (042) 492-5111 (代) FAX (042) 495-1189  
清瀬市ホームページ <https://www.city.kiyose.lg.jp/>

## CONTENTS

- 02…新たな議会構成決まる
- 03…新しい議会がスタートしました
- 04…「市政を問う」一般質問(要旨)
- 13…新しい議場を紹介します
- 14…令和3年第2回定例会  
可決・承認・同意した主な議案
- 15…提出された議案等の結果
- 16…市議会日誌、第3回定例会の開会予定  
用語の解説

市制施行50周年を記念して清瀬駅及び市庁舎周辺に設置したデザインマンホール

新たな議会構成  
決まる

令和3年第2回定例会は、6月8日から28日まで21日間の会期で開かれました。

定例会初日に、議会に関する人事の審議を行い、議会人事では、正副議長選挙、各委員会（議会運営委員会、各常任委員会、特別委員会）委員の選任、組合等議員選挙および議会選出の監査委員を選任しました。（下表および3頁のとおり）

また、今定例会では市長提出議案19件、議員提出議案1件、報告2件、陳情8件を審議しました。提出された議案等の議決結果は15頁に掲載しています。



副議長  
森田 正英



議長  
斉藤 実

就任のごあいさつ

令和3年第2回定例会において、清瀬市議会第42代議長及び第43代副議長に選出されました。

二年間の任期中、公平で活発な議論の出来る議会運営に務めていきたいと思っています。

なかなか収束が見込めない「コロナ禍」では、新しい生活様式や働き方等の市民生活は大きく変化しており、議会の役割は今まで以上に重要になると思います。

議員19人全員が議論を通じ、しっかりと市政をチェックし、より良い市民生活や街づくりのため取り組みたいと思っています。

議場も新しくなり「親子傍聴席」や「映像配信」等、今までに無かった設備やシステムも今回取り入れられました。

ぜひ一度、傍聴や見学に来庁をお願いします。

最後に、皆様方の一層の議会に対するご意見やご要望をお聞かせ願えればと思います。

清瀬市議会議長 斉藤 実  
副議長 森田 正英

特別委員会

新庁舎建設特別委員会	氏名				
	◎西上 ただし 深沢 まさ子	○香川 やすのり 原 和弘	友野 和子 斉藤 あき子	清水 ひろなが 宮原 りえ	佐々木 あつ子 小西 みか

議会選出議員・各種議員

◎委員長 ○副委員長

監査委員	氏名
	深沢 まさ子

一部事務組合議会・各種審議会	氏名	協議会等委員	氏名
柳泉園組合議会	(議長) 鈴木 たかし 小西 みか 佐々木 あつ子	多摩上下水及び道路建設 促進協議会	(理事) 斉藤 実 (第1・上水道) 森田 正英 (第2・下水道) 斉藤 あき子 (第3・道路) 清水 ひろなが
東京たま広域資源循環組合議会	清水 ひろなが		斉藤 実 清水 ひろなが
多摩六都科学館組合議会	原 和弘 友野 和子	多摩地域都市モノレール等 建設促進協議会	香川 やすのり 原 和弘 城野 けんいち
昭和病院企業団議会	西上 ただし 渋谷 けいし		
多摩北部都市広域行政圏 協議会審議会	宮原 りえ 城野 けんいち		



# 新しい議会がスタートしました

20 佐々木 あつ子	19 原田 ひろみ	18 深沢 まさ子	17 斉藤 実	16 宮原 りえ	14 森田 正英	13 渋谷 けいし	12 石川 秀樹	11 西上 ただし	10 鈴木 たかし
9 香川 やすのり	8 山崎 美和	7 ふせ 由女	6 小西 みか	5 清水 ひろなが	4 友野 和子	3 城野 けんいち	2 原 和弘	1 斉藤 あき子	

日本共産党
  清瀬自民クラブ
  公明党

風・立憲・ネット
  無所属の会
  共に生きる
  清瀬みらい

### 総務文教常任委員会



【後列 (左から)】・城野 けんいち ・香川 やすのり ・森田 正英 ・原田 ひろみ  
【前列】◎鈴木 たかし ○渋谷 けいし

所管は、企画部、総務部、市民環境部（市民課、課税課、徴収課及び産業振興課）、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会に属する事項及び他の常任委員会に属さない事項の調査及び議案、請願・陳情を審査します。（定数7人）

### 議会運営委員会



【後列 (左から)】・斉藤 あき子・原 和弘・清水 ひろなが・山崎 美和・宮原 りえ・原田 ひろみ・佐々木 あつ子【前列】◎渋谷 けいし ○小西 みか

議会の運営を円滑に行うため、議会運営に関する全般について、協議、意見調整を図る場として、設置する委員会です。（定数9人）

### 建設環境常任委員会



【後列 (左から)】・ふせ 由女・西上 ただし・宮原 りえ・佐々木 あつ子  
【前列】◎清水 ひろなが ○斉藤 あき子

所管は、都市整備部及び市民環境部（環境課）に属する事項の調査及び議案、請願・陳情を審査します。（定数6人）

### 福祉保健常任委員会



【後列 (左から)】・友野 和子・小西 みか・石川 秀樹・深沢 まさ子  
【前列】◎山崎 美和 ○原 和弘

所管は、福祉・子ども部、生涯健康部に属する事項の調査及び議案、請願・陳情を審査します。（定数7人）

※各委員会の表記 ◎委員長 ○副委員長（正副委員長を除き、左から議席番号順）

# 市政を問う



## 一般質問 要旨

一般質問：議長を除く議員が行政全般にわたり、事務の執行状況、方針等に対し質問することができる。



風・立憲・ネット 一般質問

宮原 りえ

### 学校再編や特別支援学級の配置に現場の声を

**問**意見交換会では小中一貫校のメリットばかり強調せず、デメリットの克服方法を話し合うべきだし、1学級の人数は30人以下が適正。特別支援学級は人数が増加傾向の知的障害学級の設置校を増やせば通学の負担が減るし教員の配置も手厚くなる。現場の先生方の声を聞いているか。

**答**特別支援教育のさらなる充実に向け、1校1障害種の学級を設置することにより、一人一人に応じた支援を実現させることを目指しています。学校再編計画については、資料一式を市や教育委員会のホームページに格納し、校長会を通じて先生方の意見を聞いています。

### スクール・セクハラ防止について

**問**小児わいせつは再犯率と常習性が高く、日本でもようやく教員免許の再交付を制限できる法律が成立した。学校での性暴力は表面化しにくく、近隣市でも数年前にわいせつ教員が処分されており、どこで起きてもおかしくない。市では研修や相談体制、

性教育などにどう取り組んでいるか。  
**答**管理職が中心となり、いつでも誰でも相談できる体制づくりを推進するとともに、校内委員会などにおいて定期的に情報交換し、複数体制での見守りについて取り組んでいます。性に関する指導は、保健の学習を中心に学校教育全体を通して適切に実施しています。

### 保育教育現場におけるマスク着用について

**問**保育士の口元が見えないことで、乳幼児の心と脳の発達への影響が心配される。透明素材のマスクを市で取り入れられないか。学校の通学路や体育の授業でマスクによる熱中症が懸念されるが、柔軟な着脱が定着していない。距離を取れる場合は積極的に外すよう指導を求めます。

**答**感染のリスクが低い場面や、屋外での遊び、食事の介助で口の動きや表情が見えるほうがよいときなど、必要に応じてマスクを外したり、透明素材のマスクの導入を検討します。熱中症対策として適宜マスクを外すことについては、ガイドラインに基づき指導の徹底を図っています。



風・立憲・ネット 一般質問

小西 みか

### 障害にかかわらず子どもの最善の利益の保障を

**問**特別支援教育は障害があるかどうかにかかわらず、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を目的としている。学校で活用されている「学校生活支援シート」は、その子にとっての最善を保障する子どもの権利条約の理念や、障害児の全人的権利を認め生活上のニーズを総合的に把握し生涯にわたり支援する障害者基本法の理念にも合致する。特別支援教室での支援は一人ひとりとって生活全般の改善につながっているか。

**答**特別支援教室で学んだことが在籍学級において発揮できるようにすると、本人の困難さの改善が進み、他の児童・生徒と共に学べるようになります。在籍学級との連携にあたっては、「学校生活支援シート」を活用して取り組んでいます。

### クラスづくりにもつながる学校作業療法の活用を

**問**通常級での教育を基本とし特別支援教室の全校配置は、障害があってもなくても地域で共に育つ障害者基本法の理念にも沿う。学校だけでなく

く生活に関わる諸種の分野が連携し、ライフステージに合わせた支援や、保護者支援も重要だ。学校作業療法の活用を含め支援のあり方を伺う。

**答**特別支援教室では、健康保持や心理的安定、人間関係の形成、身体の動きなど、対象児童・生徒一人ひとりが抱える学習や生活の困難さを改善することを目的とした自立活動という特別な支援をしています。自立活動には作業療法の視点を取り入れたものもあり、日々研究しています。

### 自己選択・自己決定を基本によりよい教育の場を

**問**通常級における合理的配慮を進めることも重要だ。通常級を基本に特別支援教室を活用し、一人ひとりに合う支援をつくる上での課題を伺う。  
**答**特別支援教室は比較的新しい制度で、若手教員が多く配置される傾向にあります。若手教員は指導に対する情熱が高く、大学等で最新の特別支援教育に関する知見に触れてきている一方、通常級での指導や特別支援学級での指導の経験が少ないことが課題となっています。



共に生きる 一般質問

ふせ 由女

### 飲用水の安全性

**問**東京都が実施した多摩地域57か所(28市町村)の飲用井戸の調査で、有害化学物質である有機フッ素化合物のPFOSとPFOAが検出されました。本市では災害用に井戸水を利用することが想定されていますが、問題ないでしょうか。

**答**検査を行った多摩地域57か所の井戸のうち、市内では2か所が該当となりました。厚生労働省の定める水道水の指針値1リットル当たりのPFOSとPFOAの合計が50ナノグラム以内であったことから、東京都からは特に有害化学物質が検出されたとの報告はありませんでした。

### 多様な教育補償問題

**問**2019年から始まった幼保無償化制度は、外国人学校、類似施設等を排除した不公平な制度です。その後、「この差別的部分を見直してほしい」という声が上がリ、今年度から「地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援」を開始しました。本

市の取り組み状況を伺います。  
**答**類似施設に通うお子さんのいる世帯への経済的負担を軽減する観点から、定められた基準に適合した幼稚園類似施設等であれば、この事業を適用することは可能と考えています。現在、利用支援の実施に向け、要綱の策定や他自治体との情報交換などの準備を進めています。

### 公共施設再編計画

**問**この計画で公共施設が削減され、学校施設も標的となり、小中一貫校が検討されています。これをめぐるPTAと保護者のアンケート結果によると、3つのうち2つのケースで「良くない」が「良い」を上回っています。市民と話し合うことが求められますが、予定はありますか。  
**答**公共施設再編には、市民の皆さんのご理解、ご協力が必要不可欠です。そのため、昨年12月から計13回にわたり意見交換会を開催いたしました。今後も再編計画をまとめる過程で市民参画の機会を設けていきます。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



清瀬みらい 一般質問

## 城野 けんいち

### 教材・備品の整備と充実を

**問** 学びの環境である施設、学校教育を行う上で教材や備品は必要不可欠であり、子どもたちの学びをより良いものにしていく上で、重要であると考えます。小中学校における教材・備品の整備と充実を図っていただきたいと思います。

### コロナ禍の 学校教育について

**答** 教材・備品購入費は、学級数に応じて予算を配当し、各学校で必要な教材を購入できるようになっています。今年度は児童・生徒1人1台の学習端末を配備し、ICT教材も活用するようになります。今後も学校教育に必要な教材・備品をしっかりと整備していきます。

**問** 昨年3月、新型コロナ感染拡大で一斉休校となりました。学校教育、子どもたちは多大な影響を受け、学校再開後も対策をしながら制限がある中、どのような取り組みを行ってきたのか。今年度の授業について、昨年度との違いを含めて伺います。  
**答** 今年度は、感染及びその拡大のり

スクを可能な限り低減したうえで、部活動や水泳指導を行います。緊急事態宣言解除後には、合唱指導や部分的に制約を求めている学びについても積極的に保障します。遠足や宿泊行事は、本市で作成したガイドラインに基づき実施していきます。

### スペシャリストについて

**問** 新庁舎の開庁、組織改正を経て、業務の効率化が進んでいます。今後也多岐にわたる行政需要や課題に添えていくことが求められます。市職員一人ひとりが意識を持つこと、専門的な技能や知識、経験を活かせる制度や専任職員が必要だと考えますが、見解を伺います。

**答** 様々な行政課題に柔軟に対応していくためには、専門性の高い知識を持つスペシャリストの育成は大切なことです。現在行っている、異動申告制度や定期的なジョブローテーション、資格職経験者の採用など様々な手法で適材適所を十分に考慮した人材育成を行っていきます。



無所属の会 一般質問

## 石川 秀樹

### \* 自治体DXで市民生活の 利便性はどうか変わるか

**問** DXとは「デジタル技術の浸透により生活のあらゆる面で良い影響を与える変化」と定義されている。行政の手続きも電子申請でだいぶ便利になってきた。がん検診や粗大ごみの収集の申し込みは電話よりも便利で大きく伸びているようだが、電子申請の件数はどう推移しているか。

**答** 6月8日時点で1回目を接種した人は7千225人で、これは市内高齢者の約3分の1にあたります。市内医療機関による現在の接種体制としては、平日は1日当たり350人から400人程度のペースで接種が進んでいます。

### 新型コロナワクチン 高齢者の接種状況

**問** 新型コロナの流行を抑え、社会を元の姿に戻すためには、できるだけ多くの人に早くワクチンを打ってもらい、集団免疫を獲得するしかない。当市でも5月17日から高齢者向けの接種が始まったが、高齢者の接種状況はどうか。

### 新型コロナワクチン 予約方法の改善

**問** 高齢者の第1期の予約では、窓口で直接来庁する人が大勢いたことが想定外だった。今後、有志の市民の手を借りるなどして、オンラインによる予約の拡充を検討できないか。

**答** 第2期の予約では、オンライン予約を補助する職員を正式に配置したほか、各地域市民センターでは地域包括支援センター職員が予約補助にあたり受付の円滑化が図られました。また一部地域では、自治会やシニアクラブの方々が自主的にオンライン予約を補助してくださいました。



\*印は、16ページに用語の解説があります。



清瀬自民クラブ 一般質問

森田 正英

### 成年後見制度の利用促進について

**問**認知症患者や障害がある人の意思決定支援や、財産管理などを代理人が担う成年後見制度の利用を促す次期基本計画の策定が進められている。国は全国の自治体に、今年度末までに相談を受け、利用に向けた調整を担う中核機関の設置を掲げているが、当市での対応を伺う。

**答**現状では、社会福祉協議会の「権利擁護センターあいねっと」が、成年後見制度の相談や申立ての支援などの推進機関としての機能を果たしています。今年度から来年度に向けて、中核機関への協議を「あいねっと」を候補として調整しており、支援体制のかさ上げを図っていきます。

**問**今年の出生率は80万人を割る可能性が高く、推計より10年早く少子化が進んでいる。厚労省の試算によれば、2025年に保育所の利用がピークに達したのち過剰時代に突入し、経営が悪化する事業者が増えることも予想され、既存施設の利活用策の

検討を始めた。2025年以降の保育所のあり方について見解を伺う。

**答**これまでの定期的な預かり利用だけでなく、地域の子育て相談の場としての機能や、障害や医療的ケアなど特別な配慮を要する子どもへの対応強化、育児に対するストレスを多く抱えている方の支援など、量的ニーズの変化を契機に質的ニーズへの対応も期待されてゆくと考えます。

### \*成果運動型民間委託契約「PFS」について

**問**官民が連携して社会的課題の解決を図っていく効率的・効果的な手法としてPFSの活用が求められている。政府は医療健康、介護、再犯防止を重点3分野と位置づけ導入を推進している。全国的にも広がりにあるPFS事業について見解を伺う。

**答**PFSは、事業の成果目標を設定し、その成果度に応じて報酬を支払うというもので、行政自らが無駄をなくし、公共サービスの質の向上への意識を高めて官民が連携して社会的課題の解決を図っていく新たな事業手法です。先進市の事例を参考に導入について考えていきます。



清瀬自民クラブ 一般質問

清水 ひろなが

### 農福連携について

**問**多面的機能を有している農業、農地を活用しての農業分野と、もう一つの顔であります医療、福祉のまちとして、清瀬ならではの農福連携ができないものかと考えております。これまで本市としてどのような農福連携の取り組みをしてきているのか伺います。

**答**農業委員会と連携を図り、市内農家にご協力をいただき、特別支援学級の生徒を、農業体験に受け入れていただきました。また、市内の就労継続支援施設より市内産農産物を使用したジャムを作りたいとの相談を受け、市内農家を紹介させていただきました。ジャムの製造に至っています。

### 高齢者支援について

**問**コロナ禍で、高齢者の健康作りのための通いの場が中止となるなかで、新たな健康推進のための施策などあればお聞きします。またコロナワクチンの接種が終わった後、以前と同じ様な行事や健康維持活動など予定しているのか伺います。

**答**新たな施策として、介護予防事業の参加者に運動、栄養・口腔、社会心理、セルフケアの観点から自宅で行うことができる1日の行動目標を配付して実践していただいています。ワクチン接種後の行事や健康支援については引き続き感染症対策を講じながら実施していきます。

### 行政と自治会、町内会のつながりについて

**問**昔から「向こう三軒両隣」という言葉がある様に、地域同士のつながりは、街づくりを進める上で重要であると思っています。コロナ禍で、自治会、町内会の活動が自粛や縮小する中で、コロナウイルス感染症の終息を見据え今後の活動への支援など、どう考えているのか伺います。

**答**自治会・町内会が抱える課題は、住民の高齢化による役員の成り手不足など、コロナ禍以外にも様々な課題を抱えていると認識しています。引き続き東京都の助成事業などの情報提供に努めるとともに、今後の動向に注視しながら支援の在り方について検討していきます。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



清瀬自民クラブ 一般質問

## 友野 和子

### 新庁舎の市民のスペース

**問** 経済成長を追いかけ時間に追われてきた日本人は、自治会など地域のつながりが薄くなり、公共のマナーやルールは、公共の場の利用を通じて学んでいるのだと思います。そこで新庁舎の1階ロビーと4階展望ロビーの利用方法の詳細について伺います。

**答** 1階ロビーは、市民交流スペースとなっており、簡単な打合せや休憩の場としてご利用いただけます。4階展望ロビーは、平日の開庁時間は利用可能です。飲食はご遠慮いただいておりますが、空気の澄んだ晴天時には富士山がきれいに見えますので、ぜひお越しください。

### 金山緑地公園周辺ゴミ問題

**問** 川は公共のルールやマナー、SDGsを学べる場です。ゴミが有料だという意識がない人達へ利用のルールやマナーを徹底するには、周辺自治体と連携し、誰にでもわかりやすいマーク表示看板を掲示したり、夜間の一定時間を超えると高くなる駐

車料金を設定したりしてはどうかと考えますが市の見解を伺います。

**答** 誰にでもわかりやすいマーク表示看板については、様々な事例を参考にしながら、実現に向けて研究してみたいと思います。夜間の料金設定につきましても、指定管理者との協定もありませんので、まずは指定管理者と相談したいと思っております。

### 子ども議会の取り組みについて

**問** けやき通りを突き抜ける新道の開通に伴って生じる彫刻の移設にあたり、ケヤキロードギャラリーでのまちづくりをテーマとして子ども達に意見を聞く子ども議会の開催の第一歩を、女性や若者の力を活用して取り組んでみてはいかがでしょうか。

**答** 子ども議会の開催にあたっては、教育的効果を高めるため、議員となった子ども一人ひとりに対して教師が丁寧な指導を行う必要があります。まずはコロナ禍で実現できなかった清瀬中学校の生徒会による議会の傍聴について、感染症の終息等の状況をみながら確実に進めていきます。



日本共産党 一般質問

## 佐々木 あつ子

### コロナ禍で病床削減など医療改悪は認められない

**問** 国は、病床削減、再編を進めようとしている。医師の労働時間も過労死ラインの2倍まで認める法案が可決された。病床削減が進めば、看護師が全体で5万人も削減されることになる。コロナ禍で医療がひっ迫している。病床削減ではなく、確保こそが必要だ。市の認識を伺う。

**答** 地域医療構想実現に向けた医療機関の取り組みを支援するため、単独病院での病床削減や、複数病院の統合による病床削減など、新たな病床機能の再編支援事業は、各地域の実情に即した最適な病床の配分によって必要な地域医療の確保に努めなければなりません。認識しています。

### 清小・八小の統廃合計画は見直しを

**問** 市は、公共施設の総床面積の縮小を目的とする再編計画の中で、清小の建て替えを機に八小との統廃合を7年後に計画している。八小跡地を売却して清小の建て替え経費に充てるというが、八小は、平成30年度に大規模改修を実施したばかりである。

税金の無駄づかいであり、市民は納得しない。統廃合ありきではなく、清小の学校整備は、公共施設再編計画と切り離して考えるべきだ。

**答** 子どもたちの教育環境を考えると、今後の学区区域編成を視野に入れて児童数を推計し、校舎整備することとなります。それを踏まえると、学校の適正規模・適正配置の観点から清瀬小学校単独では望ましい学級数とならないため、建て替えに合わせ第八小学校との統合を提案しました。

### コロナ禍でのがん検診について

**問** 2020年に胃や大腸などのがん検診を受けた人が前年より約3割減ったとの統計がある。コロナ禍で、検診の中止や受診控えが原因と言われている。当市の傾向はどうか伺う。

**答** 令和2年度のがん検診の実施状況は、年度当初に発令された緊急事態宣言への対応として実施期間の延期等により受診機会を確保しました。その結果、全てのがん検診において令和元年度の受診者数の実績を上回っています。令和3年度も引き続き受診率向上に取り組みしていきます。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



日本共産党

一般質問

## 山崎 美和

### 新型コロナウイルス、 希望者に早急に接種を

**問** ウェブ対応の困難な市民へのウェブサポートや、酷暑の中で高齢者や障害者などがワクチン接種会場へ移動にタクシー代等の支援が必要ですが、変異種による学校・保育園のクラスターが増えています。ワクチン優先の対象に、保育園・幼稚園、学童クラブ、小中学校の教職員等、エッセンシャルワーカー追加を求めます。

**答** ウェブ予約のサポートについては、市職員等により既に対応しています。タクシー券助成などの支援は、既存の公的サービスによる支援があることから考えていません。エッセンシャルワーカーの範囲拡大は、現時点では、職業別優先順位付けは慎重に判断したいと考えています。

### 小中学校の「東京オリパラ観戦」は強制しない

**問** 都は小中学校の「オリパラ観戦」日程を組んでいます。コロナ感染状況、児童生徒・保護者の不安から、強制すべきでないと感じます。観戦しないと欠席になるのか伺います。

**答** 学校連携観戦については、可能な限り観戦させたいと考えていますが、コロナ禍の厳しい現状が続いていることを踏まえ、校長会等と協議しながら慎重に判断していきます。コロナ禍を理由に観戦しない場合は、原則校長が出席しなくてもよいと認めたととして扱い欠席とはしません。

### 都市計画道路、 財源の明確化を

**問** 都市計画道路にかかる財政負担は、市民にとって大きな関心事となっています。現在進行中の市施工の都市計画道路3本の財源構成の明確化を求めます。

**答** 用地買収が始まっていない道路については、いったん立ち止まって、コロナ対策に力を振り向けるべきではないでしょうか。

**答** 新設の場合、財源構成は、国が対象事業費の50%、都が25%、残りが本市の負担となります。東3・4・16号線の隣接地では、地権者の皆様による区画整理事業が始まることとされていますので、この事業に合わせて事業を進めたいと考えています。



日本共産党

一般質問

## 香川 やすのり

### 特別支援学級の知的・ 情緒学級の分校について

**問** 今年度から令和6年までにかけて、清小は八小に、七小は三小に情緒学級を移設となっていますが、個々に合わせた指導や、学級が変更となった時の児童生徒の精神的負担を考えると分校にするべきではありません。それよりも知的学級に通う子が多くなっている中で、知的学級の設置校を増やすべきですが見解を伺います。

**答** 障害種ごとの設置校を分離することで、一人ひとりの障害の程度・種別に応じた、より焦点化された指導や学習環境の整備が可能となります。1校1障害種の環境を整えることで、各障害種に応じた交流及び共同学習を推進し、個別に最適な支援を実現することを目指しています。

### 児童センターの空調・換気 設備改修工事について

**問** 児童センターの空調工事を夏休み明けとし、開館する事は歓迎します。それでも約7カ月間、全館閉館しての工事は避けるべきです。子どもたちの居場所確保の為に、一部開館しながらの工事が出来ないか、公共施設の一部を代替施設にするなど検討するべきです。見解を伺います。

**答** 現在、多摩北部医療センターでは改築に向け、専門家や各医師会等で構成する多摩北部医療センター基本構想検討委員会が設置されています。委員会において地域の共通課題について議論されていますので、児童精神科医の配置に関しても必要に応じて意見等を挙げていきます。

### 多摩北部医療センターの 充実を

**問** 現在、多摩北部医療センターに児童精神科医がいない事で、市の教育支援センターは予約者が多く、知能検査も受けられず、相談事も出来ない状況になっています。児童精神科医の配置を、市から都に意見を挙げ

**答** 施工箇所を場所や部屋単位に分けて、必要な制限をしながら利用する方法、工事するフロアを1階と2階に分ける方法など検討しましたが、来館中の子どもたちの安全確保や騒音・ほこり対策などが必要となり、施工期間も1年以上となるため、全館閉館して工事を実施します。



日本共産党

一般質問

深沢 まさ子

### 耐震化工事期間中の野塩児童館の業務継続を

**問** 8月から来年2月までの間、野塩地域市民センターの耐震化工事が行われ、全館閉館となります。

子どもたちの遊びの場であり、安心して放課後などを過ごせる子育て支援の拠点施設としての児童館の代替施設を作ることをお願いします。

**答** 野塩地域市民センターの中で運営している野塩児童館については、代替施設を検討してきましたが、現時点では調整がつかず確保できていません。何とか子どもたちの居場所を確保したいと考えていますので、引き続き検討を重ねていきます。

### 指定管理者制度を導入した学童保育の検証を

**問** 4月から梅園・清明小・4小学童クラブは市直営からNPO法人。ピッコロによる指定管理者制度による運営となりました。

市の指導員の多くが移行し、保育の継続性は担保されたと思いますが、基準どおりに指導員は配置されているのかなど検証し、来年度以降の指定管理者制度の導入は拙速に行うべきではありません。

きではありません。

**答** 学童クラブの指定管理者制度への移行については、開所時間の拡大や指導員の処遇改善、財政効果の3つの点において改善を図ることができるところから、行財政改革の一環として、3か年をかけて市内の学童クラブ全10施設を移行するという方針に変更はありません。

### 障がい者を対象とした新庁舎内覧会の実施を

**問** 新庁舎を建設するにあたり、障がい者の意見を反映するための意見公聴会を開催しています。

実際にできた新庁舎の内覧会を実施し、意見を聞く中で、不具合のある箇所については改善するように求めます。

**答** 建物竣工後に付帯工事である配線工事やサイン工事、セキュリティ工事、映像音響工事などを実施したのち庁舎機能を移転しました。スケジュールは非常にタイトであり、また緊急事態宣言の発令中でしたので、感染拡大防止の観点から一般の市民の皆様も含め内覧は行っていません。



日本共産党

一般質問

原田 ひろみ

### ゼロコロナへ、PCR検査の抜本拡充を

**問** 変異株による感染拡大が常に心配される中、ワクチン接種が進んでも一定期間はPCR検査の徹底が必要です。医療機関や高齢・障害福祉施設に加え、保育園や学校など児童分野でも検査を定期的に頻回に行う事が必要ですか。

また、いつでも誰でも何回でも検査できるよう、検査キットの無料配布や検査費用の助成を求めます。

**答** 子ども関連施設の検査等を市が行う予定は現在ありません。無症状の陽性者を早期に把握することは大変困難です。モニタリングや継続的な監視については、国や東京都の動向を注視していきます。市独自の検査費用の助成は現在考えていません。

### 自宅療養者の支援へ東京都と情報共有の協定を

**問** コロナ感染で入院できないまま自宅で亡くなる方が全国で50人以上にのぼる異常事態です。

感染拡大に備え、市として、自宅療養者の情報を都と共有し、訪問診療や食料支援など独自の支援を行う

ことを求めます。

**答** 自宅療養者に対しては、多摩小平保健所の保健師が毎日連絡するとともに、東京都のフォローアップセンターが併せて見守り支援をしています。市には自宅療養者の情報が無く、保健所からの要請等も無いため、現状では市独自の支援の予定はありません。

### 南口地域の児童館検討委員会の設置について

**問** 南口地域に新設される児童館は、子ども意見を十分に反映して検討するよう希望します。

また児童館の整備基本計画検討委員会は市民公募がわずか2人です。子育て支援団体など関係者の枠はあるのか伺います。

**答** 委員の構成は、児童福祉分野に精通した学識経験者をはじめ、小中学校や保育園等の保護者、青少年問題協議会、図書館協議会、近隣自治会等関係団体のほか市民委員を含め、計10人を予定しています。皆さんの意見を広くお聞きし、市民参画を進めていきます。



公明党 一般質問

## 斉藤 あき子

### 生理の貧困対策の 拡充を

**問** コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」。公明党の要望により本市では都の災害備蓄品を配布していただきました。また、民間団体が生理用品を提供する費用にあてられる交付金があります。女性支援の拡充のための交付金活用について本市の考えを伺います。

**答** 現在、市では地域女性活躍推進交付金を活用する事業を計画している段階です。その中で「生理の貧困」にも活用していきたいと考えています。また、厚生労働省から、交付金活用事業受託者に対する福祉事務所の連携や協力の依頼通知がありました。しっかりと対応していきます。

### 子ども基本条例制定に ついて

**問** 東京都子ども基本条例が、本年3月26日都議会で成立。近年子どもを取り巻く環境は、児童虐待や子どもの貧困など大きな問題となっており、将来を担う子どもたちの基本的な権利を保障する、本市の状況にあった、こども基本条例制定について

見解を伺います。

**答** 現時点では、東京都において今後の取り組みや内容について検討している段階とのこと。所管課長会などを通して、具体的な施策展開など全体像が明らかになってゆく中で、多摩地域各市の動向を踏まえつつ、市としての対応を注意深く研究していきたいと考えています。

### 空家対策について

**問** 空家の悩みや課題は様々です。一括して相談できる体制を整えることで早期に解決が見込めます。隣接市では、日本空家対策協議会と連携し研究調査や情報提供等問題解決のみならず特定空家になる前の予防にも成果を上げています。当協議会との連携について見解を伺います。

**答** 日本空家対策協議会と、空家等の相談に係る連携に関する覚書を締結している新座市、志木市、朝霞市、和光市などの自治体では、相談業務をはじめ効果が表れているとのこと。本市でも覚書の締結ができるかどうか、先進他市の状況をもう少し聞いた中で調査研究していきます。



公明党 一般質問

## 原 和弘

### 奨学金返還支援制度の導入

**問** 経済的な理由により学びの機会を失わない為にも、又、若い働き世代へ向けた市の定住促進事業として、市が奨学金返還を「肩代わり」する奨学金返還支援制度を導入し、未来ある学生のための支援を行うべきと考えますが、市の見解を伺います。

**答** 制度の普及は市の発展のために必要であると認識しています。しかし財政力補正により、国の特別交付税における補てんが十分ではないのではないかと懸念があります。本市での対応については、制度の動向や都内自治体の導入状況を注視しながら研究していきたいと考えています。

### 訪問診療・訪問介護の 充実へ向けた駐車場確保

**問** 高齢者を車で訪問する医療・介護従事者にとって駐車場の確保は、安心して業務を行ううえで重要な問題と考える。

安心して医療・介護サービスが行える取り組みの一助として、市内事業者と共同で、駐車場の空きスペースを活用する仕組みを作ってはと思う

が市の見解を伺います。

**答** 市では、平成29年に株式会社セブン・イレブン・ジャパンと地域活性化包括連携協定を締結し、地域の活性化と市民サービスの向上のため様々な取り組みを実施してきました。事業者が安心して利用者宅に訪問できるよう、駐車場の確保について協定の中で検討していきます。

### デジタルデバイス対策

**問** デジタル化が加速する一方で、忘れてならないのは、デジタル機器に不慣れた高齢者でも、その恩恵を受けられるようにする事と考える。

昨年、通信事業者とタイアップする形でスマホ講座の開催を提案したが、今後、デジタルデバイス対策をどのように進めるか市の見解を伺います。  
**答** 市では、地域包括支援センターで実施している「シニアしっとく講座」で、高齢者向けスマートフォン講座を開催する予定です。動画の視聴やSNSツールを使用した会話など、高齢者が苦手意識を持たないよう楽しくてなるべく易しい操作方法から始めてみようかと企画しています。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



公明党 一般質問

## 西上 ただし

### 児童生徒の自主自立、グローバルな視点の育成を

**問** 五月、清瀬第二中学校の金融教育PJの取り組みを学びました。

2030年をゴールとするSDGsは児童生徒の自主自立を育成すると同時にグローバルな視点の育成など幅広く期待するところでもあります。  
\*ESDを通して未来へ向かう教育、児童生徒の自主自立、グローバルな視点の育成を教育長に伺います。  
**答** これからの予測が困難な時代に、子どもたちが正解のない問いを追求することは、子どもたちの自主自立を促すことになります。主語を自分から相手、あなた、そして私たちへと、人としての成長を進めることはグローバルな視点での育成に繋がると考えます。

### 我がまちのSDGsを進めるために

**問** 政府は、意欲的に取り組む自治体に対しSDGs未来都市への参加を進めています。SDGsを推進するため、内閣府地方創生推進事務局がサポート・アドバイスをし、取り組みの加速を進めると聞きます。課題

及び方策を伺います。

**答** SDGs未来都市として求められる要件は多岐にわたり、事業計画の立案実行には一定の時間と労力を要することになります。職員のSDGsに対する意識をさらに高めるとともに、市民の理解を深めていくための啓発事業なども実施していかなければならないと考えています。

### 新しい生活様式に対応してオンラインの取り組みを

**問** 新しい生活様式に社会が変化する中、オンライン保護者会が注目されています。

保護者会として教育現場におけるオンラインの活用について伺います。  
**答** 本年度は、オンラインによる運動会のライブ配信を行うなど、昨年度以上の工夫を凝らしています。また、2学期以降は、全児童・生徒に1人1台の端末配布がされることになっていきます。これによって遠隔による個別相談や学習支援などが実施できると考えています。



公明党 一般質問

## 鈴木 たかし

### 資源ごみの戸別収集を

**問** 昨年の燃える・燃えないの戸別収集化に続き、今後の課題として、資源ごみの戸別収集化と、その費用捻出のために柳泉園構成3市と協力してゴミ袋の統一化を図ってはいかがでしょうか。

**答** 将来的には資源物の戸別収集化を検討したいと考えており、費用捻出は重要ですので、現状、柳泉園構成3市の廃棄物処理手数料の相違などにより困難ですが、今後、構成3市と柳泉園組合を含めて指定収集袋の統一化を提起し、課題整理のうえ検討したいと考えています。

### 公園に防犯カメラ付き自販機の設置を

**問** 公園を子ども達にとって安全安心な場所にしていくために、そしてゴミのポイ捨てのないきれいな環境にしていくために、防犯カメラ付き自販機を設置してはいかがでしょうか。  
**答** 設置にあたっては、条例の整備や事業性の検証、電源の工事、自販機が放つ夜間の光の害などの環境悪化の懸念、自販機と一緒に設置される

リサイクルボックスのごみ箱化などの課題が想定されますが、(仮称)花のある公園などの整備を機会として捉え導入を研究していきます。

### 四小地域における豪雨時の二段階避難計画を

**問** 四小は豪雨時でも避難所指定されましたが、児童のいる校舎内の避難所開設にはまだまだ課題があります。そこで、まず豪雨時は四小体育館へ避難し、その後、雨量などを鑑みて校舎内の上層階へ避難するという「二段階避難」をしてはいかがでしょうか。

**答** 垂直避難の考え方から、上層階の校舎を避難所として使用させてほしいとの意見もありますが、整理されていない課題も山積しています。学校関係者や教育委員会とも協議し、豪雨の場合、まずは体育館へ避難し、危険が迫った時のみ上層階へということができないか検討してみます。



\*印は、16ページに用語の解説があります。

## 新しい議場を紹介します

令和3年5月6日、待望の新庁舎が開庁し、4階の議場も新たなスタートを迎えることとなりました。新しい議場は、市議会の新庁舎建設特別委員会による審議や、市民の皆さまからいただいたご意見などを踏まえた新庁舎建設基本計画に基づき設計されています。今回はその機能の一部をご紹介します。

### 議場と委員会室との一体的利用

先進自治体における議場の使用状況などを検証し、議場と委員会室の界壁を可動式のスライディングウォールとしました。間仕切りを開放することで、大人数が出席する予算・決算特別委員会などの際に一体的に利用することが可能となり、必要面積の縮減と稼働効率の向上を図っています。



手前が議場の議員席、画像中央天井モニターに映し出されている市章より奥が委員会室

### 親子傍聴席を新設

小さなお子様を連れて傍聴したい、というご要望にお応えし、親子傍聴席を新設しました。

親子傍聴席は、議場と防音ガラスで隔てた個室で、室内の音が外に漏れにくい構造になっています。議場の音声は、モニタースピーカーを通して聴くことができます。

室内には、

大人用の4人掛けベンチシートのほか、お子様向けのキッズコーナーもご用意していますので、気兼ねなくご利用いただけます。



### 電子表決システムの導入

正確で円滑な議会運営を目的として、「電子表決システム」を導入しました。議員が賛否ボタンを押すと、議場内に設置されたモニターに表決結果が表示され、傍聴席からもご確認いただけます。

### 議会映像配信

令和3年6月の第2回定例会より、議会映像の録画配信を開始しました。清瀬市ホームページの市議会トップページ右上のバナーをクリックしていただくと配信ページが開きます。議員名や会議名などで検索することもできますので、ぜひご視聴ください。



その他、議場前に設けた展望ロビーには、中継モニターを設置して議場内の様子をご覧いただけるようになっていきます。

また、難聴者の聞こえを支援するヒアリングループや車いす用の傍聴スペースなど、開かれた議会として市民の皆さまにとってより身近となるような設備も整えていますので、ぜひ一度、傍聴にお越しいただければ幸いです。



議場の議員席と傍聴席側に設置されたモニター

# 令和3年第2回定例会 可決・承認・同意した主な議案

## ▼専決処分報告について

### 令和3年度清瀬市一般会計補正予算

#### (第1号)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、子育て世帯生活支援特別給付金をひとり親家庭の対象者に早急に給付できるように、歳入歳出の総額にそれぞれ4千750万4千円を追加し、歳入歳出の総額は317億4千550万4千円となりました。なお、この補正予算は4月27日付で専決処分し、5月中に対象世帯に支給しました。

### ▼令和3年度清瀬市一般会計補正予算

#### (第2号)

歳入歳出の総額にそれぞれ4億659万6千円を追加し、歳入歳出の総額は321億5千210万円となりました。

#### 歳入の主なもの

① 国庫支出金では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に2億8千241万5千円の増額です。

② 保育園等の感染症対策物品購入経費の財源として、保育対策総合支援事業交付金、教育支援体制整備事業費交付金、子ども・子育て支援交付金を合計した1千194万2千円の増額です。

③ 都支出金では、介護施設及び障害者利用施設における介護者が新型コロナウイルスの陽性者となった場合に、要介護者が継続してサービスを利用できるための体制整備事業に780万円、介護施設及び障害者施設等の職員や利用者が受けるPCR検査補助経費に3千447万5千円、市内中小事業者がキャッシュレス決済によるポイント還元を付与する事業の財源として6千32万円それぞれ増額です。

#### 歳出の主なもの

① 民生費では、介護施設及び障害者施設の利用者と職員のPCR検査補助と、介護者が陽性となった場合に要介護者が継続してサービスを受けられるための体制整備等に係る補助経費として合計4千206万円の増額、感染症対策物品購入等の補助経費として、私立幼稚園等助成事業に530万円、私立保育園等運営事業に1千175万円、市立保育園運営管理事業に190万円、認可外保育施設等助成事業に270万円、認証保育所助成事業に40万円それぞれ増額です。

② 商工費では、非接触型のキャッシュレス決済を導入した市内対象店舗の利用に対して、ポイント還元を実施する事業に1億800万円、売り上げが減少している市内事業者への支援として給付金を支給する事業に1

億1千900万円、令和2年度に実施して好評だったがんばるお店応援キャンペーン事業に4千850万円など、合計2億7千988万3千円の増額です。

### ▼令和3年度清瀬市一般会計補正予算

#### (第3号)

歳入歳出の総額にそれぞれ1億9千64万4千円を追加し、歳入歳出の総額は323億4千274万4千円となりました。

#### 歳入の主なもの

国庫支出金では、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金に9千54万4千円の増額、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に6千310万円の増額、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費に3千700万円の増額です。

#### 歳出の主なもの

① 民生費では、生活困窮者自立支援金給付事業で9千54万4千円、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に6千310万円の増額です。

② 衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種事業として、接種スピードを加速化するため、土曜日、日曜日に接種を行うための医療機関職員の報酬及び電話対応オペレーター等の増員、周辺に接種医療機関や公共交通機関が少ない一部の地域における接種会場へのバス送迎に係る経費など3千700万円の増額です。

### ▼清瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について

清瀬市固定資産評価審査委員会委員に次の方を選任したいとする議案が市長より提出され、議会はこれに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

木村 則 男  
吉澤 真 美

### ▼清瀬市監査委員の選任について

清瀬市監査委員に次の方を選任したいとする議案が市長から提出され、議会はこれに同意しました。

監査委員 深 沢 まさ子  
森 政 史

### ▼清瀬市副市長の選任について

清瀬市副市長に次の方を選任したいとする議案が市長から提出され、議会はこれに同意しました。

副市長 瀬 谷 真

提出された議案等の審議結果は15ページに掲載しています。



中里緑地保全地域

# 提出された議案等の結果

第2回定例会(6月)で審議された議案等の結果

(○:賛成 ×:反対)

市長提出議案									
番号	件名	日本共産党	清瀬自民クラブ	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
議案第24号	専決処分の報告について(清瀬市市税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第25号	専決処分の報告について(清瀬市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第26号	専決処分の報告について(令和3年度清瀬市一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第27号	令和3年度清瀬市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	令和3年度清瀬市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	清瀬市市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	清瀬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	清瀬市まちづくり基本条例の一部を改正する条例	—	—	—	—	—	—	—	*継続審査
議案第32号	清瀬市道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第33号	清瀬市道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第34号	野塩地域市民センター耐震補強・改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	清瀬市児童センター空調・換気設備改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	清瀬市監査委員の選任について	投票による							同意
議案第37号	令和3年度清瀬市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正等に伴う関係条例の整理に関する条例	×	○	○	×	○	×	○	可決
議案第39号	清瀬市監査委員の選任について	投票による							同意
議案第40号	清瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について	投票による							同意
議案第41号	清瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について	投票による							同意
議案第42号	清瀬市副市長の選任について	投票による							同意

\*印は、16ページに用語の解説があります。

議員提出議案									
番号	件名	日本共産党	清瀬自民クラブ	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
議案第10号	国民と都民の生命および生活の尊重の観点から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の中止または延期を求める意見書	○	×	×	○	×	○	×	否決

陳情									
番号	件名	日本共産党	清瀬自民クラブ	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
陳情第6号	厚生労働省へ保健所の感染症に対する機能強化の意見書を提出することに関する陳情	○	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情第7号	「国民投票法改正案の廃案を求める意見書」の提出を求める陳情	審査未了							
陳情第8号	政府に対し日米FTA脱退を求める要請を求める陳情	○	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情第9号	政府に対し日中韓FTAの交渉差止を求める要請を求める陳情	○	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情第10号	政府に対しTPP脱退を求める要請を求める陳情	○	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情第11号	政府に対しRCEP脱退を求める要請を求める陳情	○	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情第12号	政府に対し日英EPA脱退を求める要請を求める陳情	○	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情第13号	パンデミックに潜在看護師を活用すべきと国に意見書を提出することに関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	不採択

報告									
番号	件名	日本共産党	清瀬自民クラブ	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
報告第2号	令和2年度清瀬市一般会計継続費繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	了承
報告第3号	令和2年度清瀬市一般会計繰越明許費繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	了承

※表中の会派の名称及び議員名

日本共産党(山崎 美和・香川 やすのり・深沢 まさ子・原田 ひろみ・佐々木 あつ子 5人)

清瀬自民クラブ(友野 和子・清水 ひろなが・渋谷 けいし・森田 正英 4人)

公明党(斉藤 あき子・原 和弘・鈴木 たかし・西上 ただし 4人)

風・立憲・ネット(小西 みか・宮原 りえ 2人)

無所属の会(石川 秀樹 1人)

共に生きる(ふせ 由女 1人)

清瀬みらい(城野 けんいち 1人)

※( )内の数字は、会派所属議員数を示したものです。ただし、風・立憲・ネットについては、斉藤 実議長を除いた人数です。

※清瀬自民クラブの渋谷のぶゆき議員は、第2回定例会初日の6月8日付で辞職しました。

# 市議会日誌

- 5・19 東京都三多摩地区消防連営協議会役員会・通常総会（書面開催）
- 第5回柳泉園組合議会代表者会議
- 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 24 全国市議会議長会第97回定期総会（書面開催）
- 26 三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事會・総会（書面開催）
- 27 東京都議会議長会定例総会（書面開催）
- 28 第2回東京都町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時總會
- 6・8 本会議（初日）
- 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 10 本会議（一般質問）
- 11 本会議（一般質問）
- 14 本会議（一般質問）
- 16 総務文教常任委員会
- 17 福祉保健常任委員会
- 建設環境常任委員会
- 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 28 本会議（最終日）
- 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 7・5 第59回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会（書面開催）
- 昭和病院企業団議会議員への病院事業概要説明会
- 7 第2回柳泉園組合議会定例会
- 第1回廃棄物等処理問題特別委員会

**\*手話通訳者での傍聴ができます\***  
 希望される方は事前（7日前まで）に申し込みが必要です。  
 詳しくは議会事務局へ下記 FAX 番号宛てにお問い合わせください。

- 14 東京2020オリンピック聖火リレー
  - 16 第40回多摩地域都市モノレール等建設促進協議会（書面開催）
  - 27 東京たまご資源循環組合議会第3回全員協議会・第1回臨時会・第4回全員協議会
  - 28 第1回多摩六都科学館組合議会臨時總會
  - 29 議会運営委員会
  - 30 新庁舎建設特別委員会
  - 昭和三十九年度行政圏協議会第1回臨時会
  - 多摩北部都市広域行政圏協議会第1回審議会
  - 8・4 東京都議会議長会定例総会
- ### 第3回定例会の開会予定
- 令和3年清瀬市議会第3回定例会を9月1日（水）から28日（火）まで、会期28日間にわたり開会する予定です。
- ◇日程（案）
- 9・1 本会議（初日）
  - 決算特別委員会委員長・副委員長選任
  - 3 本会議（一般質問）
  - 6 本会議（一般質問）
  - 7 本会議（一般質問）
  - 決算特別委員会（決算概要説明）
  - 9 総務文教常任委員会
  - 10 福祉保健常任委員会
  - 13 建設環境常任委員会
  - 議会運営委員会
  - 15 決算特別委員会
  - 16 決算特別委員会
  - 17 決算特別委員会
  - 28 本会議（最終日）

## 用語の解説

- \* **PFOS及びPFOA**…PFOS（ペルフルオロオクタンルホン酸）及びPFOA（ペルフルオロオクタン酸）は、水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光を吸収しないなど独特の性質を持ち、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤等に用いられてきた化学物質。
- \* **自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）**…行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくこと。
- \* **P F S（Pay For Success）**…地方公共団体等から民間事業者に対する支払額等が、事業の成果指標の改善状況に連動するというリスクを民間事業者が負うとともに、事業の実手法について、民間事業者に一定の裁量を持たせるような委託等の契約を行うことで、民間事業者の事業意欲をより一層向上させ、そのノウハウ等を引き出すことが可能となる。
- \* **SDGs（Sustainable Development Goals）**…2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際社会共通の目標。
- \* **デジタルデバインド**…インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用したり使いこなしたりできる人と、そうでない人の間に生じる、貧富や機会、社会的地位などの格差のこと。
- \* **金融教育PJ（プロジェクト）**…清瀬第二中学校において開催した教育プロジェクトで、仮想政府（実行委員会）を中心に、仮想銀行「清銀」、仮想広告代理店「清通」、仮想材料卸会社「kiyozo」を置き、各起業グループが社会経済に従ったルールで仮想通貨「キヨニー」を介して、各店舗の運営やイベントを実施した。
- \* **E S D（Education for Sustainable Development）**…現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらす、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動のこと。
- \* **継続審査**…当該会期中に結論を得るに至らなかったが、会期延長をしてまで結論を出す緊急性がない場合には、例外的に継続して審査をすることが認められている。

市議会はいつでも傍聴でき、録画映像のインターネット配信も行っています。  
 会議録は市のホームページからご覧いただけます。  
 きよせ市議会だよりの音訳CDを作成しています。  
 ご希望の方は、議会事務局へご連絡をください。



**問** 清瀬市議会事務局  
 清瀬市中里5-842 TEL(042)497-2566(直通) FAX(042)495-1189  
**合せ** 清瀬市ホームページ <https://www.city.kiyose.lg.jp/>